



国際会長ニュース

2024年10月号



親愛なるクラブメンバー、友人の皆さん

2024/25年度の第1四半期が終了しました。私たちの主題である「立ち上がろう、そして輝こう」は、私たちの団結、親睦、人類への奉仕、より良い未来を築くための献身を通して反映され、感動的な期間となりました。世界がますます頻発し、甚大な災害に直面している今、私たちの奉仕活動は、「世界を癒そう」にとってこれまで以上に不可欠なものとなっています。

マハトマ・ガンジーは自伝の中でこう書いています。

「奉仕は、人が喜びを感じない限り、意味を持ち得ません。見せびらかすためや世論を恐れてする奉仕は、その人を萎縮させ、その精神を打ち砕きます。喜びのない奉仕は、奉仕する側にも奉仕される側にも何の役にも立ちません。」

この真理は、世界中のワイズメン/ウイメンの心に深く響きます。私たちは、喜びをもって奉仕し、それを義務だと考えています。

タイのチェンライ、パヤオ、チェンマイの洪水被災地において、ワイズメンとYMCA会員が行ったボランティア活動に深い感動を覚えました。チェンライとサオヒンのYMCA施設は、大きな被害を受けました。国際大会の期間中、私たちの多くは、これらの場所を訪れましたが、その惨状を目の当たりにして心が痛みました。タイでの救援活動を支援するため、私たちは、国際会長裁量基金から7,500米ドルを緊急救援のために提供しました。協定に基づき、この資金は、チェンマイYMCAから同額が提供されます。アジア太平洋地域からも5,000米ドルの支援を受けています。また、先月、西インド区とカリブ海区に対し、異常気象に関連した災害復興支援のため、3,000米ドルのマッチング・ファンドを提供しました。

9月21日の世界クリーンアップデイには、Week 4 Wasteプロジェクトの一環として世界各地のクラブが参加し、海岸や公共スペースの清掃を行いました。献身的なメンバーやボランティアの皆さんが、私たちの環境的課題を積極的かつ目に見える形でサポートしてくれたことに、心からの祝福を送ります。

また、エドワード・オンが、2024/25年度次期国際会長に選出されたことをお知らせいたします。心よりお祝い申し上げますとともに、彼をワイズメンズクラブ国際協会執行委員会に歓迎いたします。



エドワード・オン
2024-25次期国際会長

9月は、私にとって多忙な月でした。仕事とワイズメンの両面でインド各地を訪問しました。ジョース国際書記長とともに、インド地域議会、元区理事フォーラム、地域事業主任研修への出席に加え、西インド区の地滑り被災地であるワヤナドを地域や区のリーダーとともに訪問しました。そこでは救援、復興活動の進展を目の当たりにしました。また、ニューデリーで開催されたNENEIR(インド北部・東部・北東部)区の議会とクラブ開設式に参加し、インドYMCAとのミッション・パートナーシップを強化するための話し合いを行いました。

中央インドもまた、私たちの支援を必要としている区のひとつです。私は同区の区評議会およびマハラシュトラ州プネーの新クラブのチャーターナイトに出席しました。また、オンラインでミッション100のチームミーティングを行い、ワイズが100カ国に到達する計画が立てられました。世界中の多くの指導者が、このミッションを積極的に追求していることを嬉しく思います。直前国際会長のウルリック・ラウリドセンとベズウェル、アフリカ地域会長は、10月2日にレソトで新クラブの設立に立ち会い、私たちの運動で最も新しい国を誕生させます。

ジョース・ヴァルギース国際書記長とフィリップス・チェリアンYMCAリエゾン(ワイズメンズクラブ国際協会の世界YMCA同盟へのリエゾン)と共に、10月20日から26日までモンバサで開催される世界YMCA同盟ビジョン2030アクセラレーターサミットと執行役員会に出席します。モンバサでのサミットは、70カ国のYMCAリーダーにワイズメン運動を改めて紹介する絶好の機会です。

また、エチオピアYMCAともアジスアベバで新しいクラブを立ち上げるために会う予定です。さらに、10月15日にバンガロールYMCAとインドYMCAとミーティングを行い、トーマス・ビジュYIA(若者の参画・活動)国際事業主任のリーダーシップのもと、バンガロールでユーススポーツフェスティバルを開催する予定です。

私たちの運動を強化し、現在と未来の世代のためにより良い世界を築くために協力し合いながら、「立ち上がろう、そして輝こう」ではありませんか。

心を込めて



A・シャナヴァスカーン
2024/25 国際会長



国際書記長
ジョース・ヴァルギース

ジュネーブのワイズメンズクラブ国際協会本部からご挨拶申し上げます。秋になると、国際選挙の準備が始まるのでワクワクします。クラブは、所属する地域から協議会代表者(国際議員)の候補者を推薦することができます。クラブは今、各区理事からクラブ会長メモを受け取っていることでしょう。そこには、所属地域から選出される協議会代表者(国際議員)の推薦手続きに関する情報が記載されています。クラブ会長またはその委任を受けた代理人は、以下のリンク(www.ysmen.org/cpmemo)からメモにアクセスし、推薦手続きを行うことができます。クラブからの推薦の締め切りは、2024年10月25日(金)午後11時59分(ジュネーブ時間、中央ヨーロッパ夏時間)です。2024/25年度国際選挙プロセスの最新スケジュールは、ウェブサイト<https://www.ysmen.org/elections/>をご覧ください。

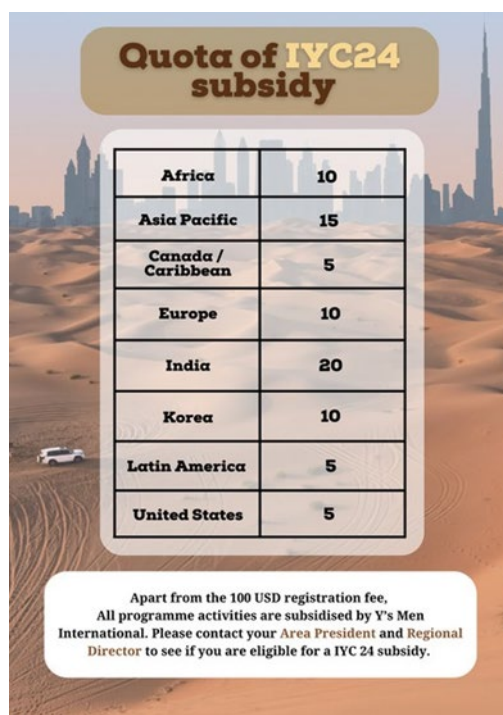
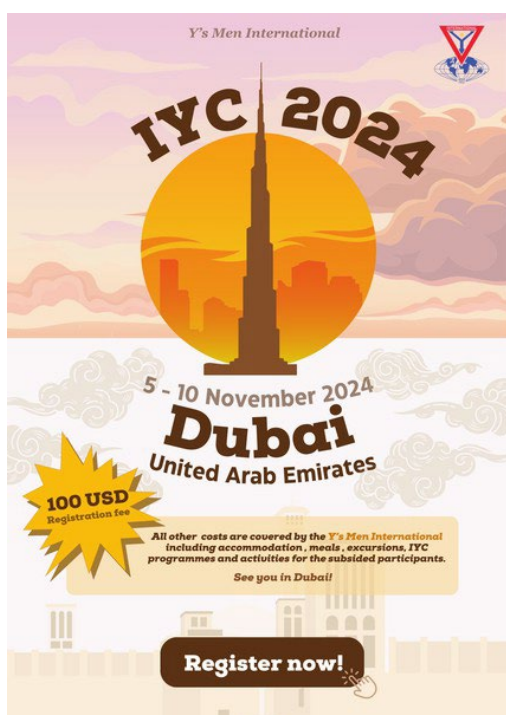
その他の選挙ニュースとしては、2024/25年度新次期国際会長を選出するための臨時投票の結果を紹介しないわけにはいきません。この臨時投票は、国際会長チャーミング・シェンの健康問題により、次期国際会長シャナヴァスカーンが国際会長の責務を引き受ける必要が生じたために必要となったものです。次期国際会長となったシンガポール・アルファワイズメンズクラブのエドワード(ケン・ワン)・オンを心から祝福します。エドワードは、長年にわたりワイズメンズクラブ国際協会で様々な指導的ポジションを歴任し、アジア太平洋地域会長、最近ではLTOD国際事業主任およびTOF委員会委員長を務めました。エドワードは、すでに国際執行委員会のメンバーとして活動を始めており、私たちは、彼の新しい役割を歓迎し、サポートします。

10月は、アレクサンダー奨学基金の強調月間です。この国際的なプログラムはユニークで、献金の70%が地元で留保され、各国のYMCA同盟を支援します。YMCAへの奉仕クラブとしての歴史を忘れず、今月は、YMCAとの使命感溢れるパートナーシップを築き、特にASFプログラムに沿った指導者育成の分野でYMCAの目標を支援することに集中することを全会員にお奨めします。最近、ASF基金は、チェンマイで開催された国際大会に参加した4人のスタッフ(現役または退職者)の参加費を支援しました。

各クラブが会員増強と会員維持に引き続き取り組んでいることを願っています。EMCは9月の強調月間でしたが、これは私たちの組織にとって継続的な優先事項であるべきです。100日間会員増強キャンペーンは毎年9月に始まり、12月9日の創立者ポール・ウィリアム・アレキサンダーの誕生日に終了します。まだの方は、該当する[短いビデオクリップ](#)をご覧くださいになることをお勧めします。

最後に、ドバイで開催される国際ユースコンボケーションの登録が10月23日に締め切られることをお知らせします。このイベントに参加する18歳～30歳の若者をあなたの区の理事を通じて推薦する最後のチャンスです。参加費を負担できるユースは、直接参加登録が可能で、合計60～70名の参加を見込んでいます。イベントは、2024年11月5日～10日にアラブ首長国連邦のドバイで開催される予定です。詳細については、[2024年国際ユースコンボケーションの国際協会ウェブサイト](#)をご覧くださいか、ユース・プログラムのアシスタントのトング (tong@ysmen.org) まで直接お問い合わせください。

国際スタッフ一同から、心を込めて



編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの考えやアイデアをお知らせください。

11月の強調月間テーマは、BF、iGo、STEPです。

以下をクリックして、10月15日までに記事を投稿してください。

[編集長へ](#)

アレキサンダー奨学基金 ASF

ASF国際事業主任 マシューズ・アブラハム



親愛なる皆さま

私たちの運動の創設者であるポール・ウィリアム判事は、偉大な先見の明の持ち主でした。1920年にYMCAのために私たちの運動を始めたとき、彼は、進歩的な関係を思い描いていました。1954年にアレキサンダー奨学基金 (ASF)を導入した時、彼は、そのビジョンを基にYMCAとYMIの関係を強化しました。私たちの臍の緒は、私たちを生んでくれたYMCAと今もつながっており、共に前進していく絆で結ばれています。ASFに少しの献金をすることで、あなたは、YMCAスタッフのトレーニングや奨学金を支援することができます。この基金への寄付は、各地でも国際レベルでも活用されます。今年度、私たちの国際会長は、国際ASF献金として18,215スイスフランを集める予定です。ご参考までに、地域別の内訳を示します。

	アフリカ	アジア太平洋	カナダカリブ	ヨーロッパ	インド	韓国	ラテンアメリカ	USA	合計
国際会長 目標 24/25	600	6,600	600	540	1,320	6,000	55	2,500	18,215

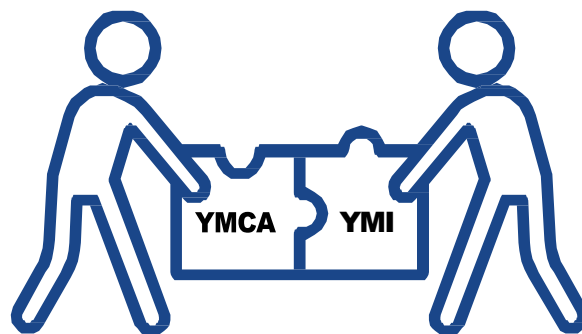
私は、すべてのクラブがこの基金に寄付することを切に奨めます。YMCAは今年創立180周年を迎えますが、私たちは、私たちの主要なパートナーに対する決意を新たにする責任があります。皆さんの強力な関与があれば、国際会長の目標を達成することができます。ラッキークーポンやオークションなど、革新的なファンドレイジング戦略も考えられます。今年をASFにとって記録的な年にしましょう。トップレベルの貢献者には、国際事業主任から国際レベルおよびエリアレベルで相応の表彰が行われます。

ASFについて詳しくは
ここをクリック



アレキサンダー奨学基金、別名ASFは、ワイズメン運動の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事にちなんで名づけられました。このプログラムは1982年にアレキサンダー奨学基金と改名されるまで、ポール・ウィリアム・アレキサンダー奨学基金(PWASF)と呼ばれていました。

目的



ASFの目的は、YMCAスタッフやスタッフを目指す人の育成を促進することです。また、以下により、YMCA職員の不足を解消することです。

- 各国の若者たちにこの責任を担うよう奨励し、彼らのトレーニングに資金を提供する。

誰のためのASF?

- すでにYMCAに雇用されている者で、研修や習熟度を高めるために助成金が必要な者
- トレーニングを受けたスタッフを求めるYMCA
- YMCAの会員で、専門的な訓練を受けた指導者がいる方が、よりよいサービスを得られる考えている者

プロモーション

- 各クラブは、ASFのために特別に何らかの募金プロジェクトを推進するよう求められています。クラブによっては、一般的なプロジェクト資金から献金を調達するところもあります。
- 区大会では、特別な活動やプロジェクトを主催し、資金を集めます。「ファイン」は、楽しい収入源です。部は、ASFデイを祝い、募金活動を行うこともできます。

偽の預言者たち!

キリスト教強調国際事業主任
ビリー・モールガード



山上の垂訓の最後に、イエスは偽預言者について言及されています。そして、偽預言者たちは効果的なことをしたり、言ったりすると述べています。イエスの時代、奇跡はよく行われていたが、それはあらゆる病気が悪霊によって引き起こされると信じられていたからです。人々は、何か思い通りにならないことがあると、悪霊に取り憑かれていると信じていました。したがって、多くの病気は心理的なものであり、多くの癒しもまた心理的なものでした。人間は、自分が悪霊に取り憑かれていると考え、必然的に病気になると考えるかも知れません。悪魔の力が断ち切られたことを納得させることができれば、多くの場合、その人は癒されます。新約聖書には、イエスの名をレパートリーに加えたユダヤ人の悪魔祓いたちが登場します(使徒言行録9:13など)。

今日の偽預言者は誰でしょうか？彼らは、おそらく、何よりもまず、愛を实践せず、自分のために物事を行う人々です。ということは、私達も時には偽預言者になってしまうということです。しかし、私は、あえてもっと深く考えます。永遠の地獄を説く人たちだと思えます。私たちが死んだら、誰かが地獄に行き、誰かが天国に行くと言う人たちです。私は、新約聖書で語られている地獄は、一時的な天罰だと信じています。イエスの贖いの御業は、使徒言行録3章21節にも直接言及されているように、全人類に適用されると信じています。イエスの時代からアポカスタシスと呼ばれ、まさに使徒言行録3章21節に由来する主題を読み、研究するとき、キリストの贖いの御業にはすべての人が含まれると確信します。神の愛と力は一体であり、いかなる人間も永遠の苦しみの中で滅びることを許すことはできないし、許すつもりもありません。私は、新約聖書をそれ以外の方法で読むことはできません。私はまた、アポカスタシスを新約聖書の最大かつ最良のメッセージだと考えています。そして、この見解を支持する論拠をいくつか挙げるにとどめます。最初の500年間は、この見解がキリスト教会の主要な見解であり、少なくともプロテスタント・キリスト教においては、現在再びブレイクしつつある見解です。それは、イエスが現世の後に神との生活を約束されたという教えと最も一致する見解です。

最後に、キリスト教はユダヤ教のような律法の宗教ではなく、善行によって永遠を得る宗教であることを述べておきたいと思えます。キリスト教では、正しいことよりも恵みが優先されます。キリスト教は、善行がその違いを決める審判の日で終わるものではありません。キリスト教は赦しで終わります。新約聖書は、キリストの贖罪と赦しで終わり、そこでは、私たちが誰であろうと、正義よりも恵みが優先されます！



この絵は、デンマークのヴェステルカール教会の祭壇画で、黙示録21.1-5が描かれています。1999年にエスベン・ハネフェルト・クリステンセンによって描かれました。絵の左側には蛇(サタン)が描かれています。この画家は、初期の教会文化における多くの人々と同じように、サタンもイエスによって救われると信じています、何というメッセージでしょうか！

世界のYMIの最新情報

会合/イベント



京都部部会

ヨーロッパ地域議会



西九龍ワイズメンズクラブ、国際YMIファミリーによろこそ。
南東アジア区、香港部、アジア太平洋地域の皆さん、おめでとうございます。.



インド地域議会



カナダ/カリブ海地域、ミッドランドでの
カナダ中西区会議

緊急支援



チェンライYMCAは、チェンライワイズメンズクラブと共に、洪水に見舞われた地域社会の支援に、引き続き深くコミットしています。困っている人々を救出し、必要な救援物資を配布し、YMCAで避難所を提供しています。YMIはチェンライの人々と共に立ち上がります。

シャナヴァスカーン国際会長とインド地域のリーダーは、ワヤナドの地滑り・洪水被災地を訪問しました。



コミュニティーサービス 環境保護活動



世界クリーンアップデー。フィリピン区



世界カーフリーデーマラソン。台湾中央部



メトロワイズユースクラブによるCSプロジェクト。
ケニア・ナイロビ



9月5日のナショナル・ティーチャーズデイに中央トラバンコール第2区は、パタナムティッタ周辺の20の専門学校から101人の特別教育教師を表彰しました。